

2022年度乗務員研修計画

旅客事業者の指導・監督内容						
1	事業用自動車運転する場合の心構え	座・実	集・個	プロの運転者としての意識を持たせ、乗客の安全を最優先する事が重要であることを認識させる。	バスに係る事象の社会的影響について事故の特徴をケースや事故事例を基に安全運行の心構えを解説し、最上位免許を保有するドライバーとして他の運転者の模範になるよう説明	30
2	事業用自動車の運行の安全と旅客の安全を確保する為に遵守すべき基本事項	座・実	集・個	事業用自動車の運転者にとって遵守すべき法令の規定があり法令について理解させると共に、遵守すべき事項を認識させ、逸脱した行為によって生じる事故の行政及び民事に対する責任を認識させる。	旅客自動車運送事業運輸規則に係る法令の説明（運行前後の点検・運行前点検等）また運行に関わる法令である道路交通法（アルコール・携帯、スマホ、荷物の落下）及び義務を果たさない場合の双方への影響を説明	40
3	事業用自動車の構造上の特性	座・実	集・個	バスの重量、車高、車長、車幅などから、死角やスピードに影響がある事を認識させ、特性に合わせた運転をする事が必要であることを認識させる。	バスの重量、車高、車長、車幅などについて座学で説明し、より実践的に死角や片輪着、オーバーハングについて実際のバスを用いた実技研修を実施	2
4	乗車中の旅客の安全を確保する為に留意すべき事項	座・実	集・個	「急」のつく運転はしない、そういった運転を行ったことでの乗客への影響とシートベルト着用の義務と安全について理解させる。	発車前車内ミラー確認の助行とシートベルト着脱の助行がなかった場合の影響を事例を交えながらの解説、また危険回避のための緊急ブレーキ操作の実践	30
5	旅客が乗降する時の安全確保のために留意すべき事項	座・実	集・個	乗降時の操作等による人や障害物への接触また駐停車禁止場所での乗降の危険性を認識させ乗客の乗降の安全を確保するための留意が必要であることを理解させる。	乗り心地を考えた発進・停止・加速・減速が乗客の安全を確保する事を解説また、高齢者・障がい者の乗降の不自由さを疑似体験することで理解を深める。	1
6	主として運行する路線若しくは経路又は営業区域における道路及び交通の状況	座・実	集・個	観光地の立寄り場所、観光名所へのコース上の危険箇所及び定期運行業務でのコース上の危険箇所の把握と悪天候に対する対処法	駐車地、目的地、停車地、経路における危険箇所の共有及び管上走行訓練とチェーン装着訓練	1
7	危険の予測と回避及び緊急時対応	座・実	集・個	危険予知訓練の手法を用いて歩行者や自転車の行動特性及び天候や道路における危険の予測並びに回避の方法を理解させると共に必要な技能を習得させていく。	危険予知トレーニングDVDの活用と悪天候・夜間走行での危険への配慮を解説し緊急時における適切な対応について理解を深めるとともに緊急ブレーキ操作を実践する。	3
8	運転者の運転特性に応じた安全運転	座・実	集・個	適正診断結果を用いて個々の運転者に自己の運転行動の特性を自覚させ、これを理解した上での安全指導を実施	随時個別対応	通年
9	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法	座・実	集・個	生理的・心理的要因による実際の事故事例を用いて、これらが交通事故につながる重大な要因であることを認識させる。	運転運転による過労、飲酒、睡眠不足や乗物の加用による生理的要因や運転技術への過信、焦り、興奮状態など心理的要因等が運転に及ぼす影響をDVD等を活用しながら解説	40
10	健康管理の重要性	座・実	集・個	疾病が要因である交通事故事例を基に乗務員の健康管理がいかに大切であることを認識させる。また、感染病対策についての解説	健康診断結果を基に個々の生活習慣の改善を促すと共に健康管理の重要性を理解させる。	40
貸切旅客事業者の指導・監督内容						
1	安全性の向上を図るための装置を備える貸切バスの適切な運転方法	座・実	集・個	装置を過信し事故に至るケースがある事を理解させる。また、運転支援装置の限界とメーカーによる違いを明確にさせる。	最新の安全装置を搭載した車両を用い併走機会を実際に確認する。	1
2	ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	座・実	集・個	ヒヤリハット及び事故のドライブレコーダー映像を視聴し自身で感じ、考えることで理解を深める。	グループ分でディスカッションによる対話型研修を行う	通年
その他						
1	バス運転者の労働時間等の改善の為にの基準	座・実	集・個	労基法	簡単なテスト形式での研修	30
2	救命救急講習	座・実	集・個	外部講師若しくは有資格者による研修		半日